

せんしきめん 線織面で ふしぎな世界

説明と見本

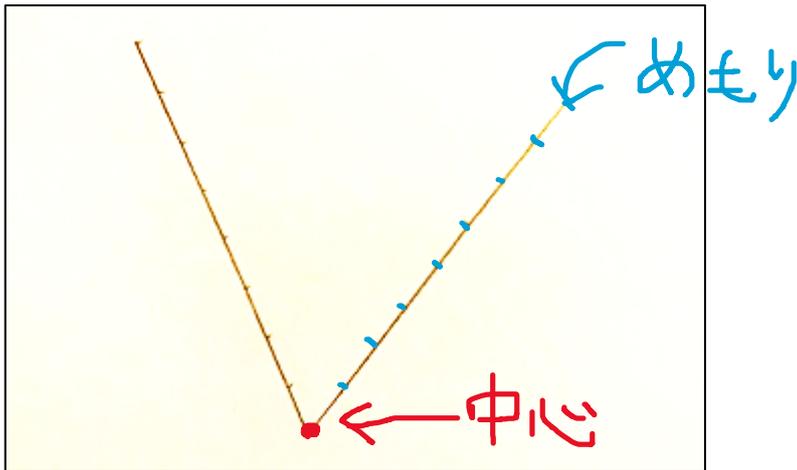
★「線織面」とは？

漢字から考えると、「線を、織物のようにあんでできた面」。ただ、ふつうの織物とはちがって、たて・横の交わり方がちょっと変わっているんです。むずかしく思えるかも知れませんが、ルールを覚えると、不思議でかっこいい図形がかけられるようになりますよ。そこで5年生には特別課題！

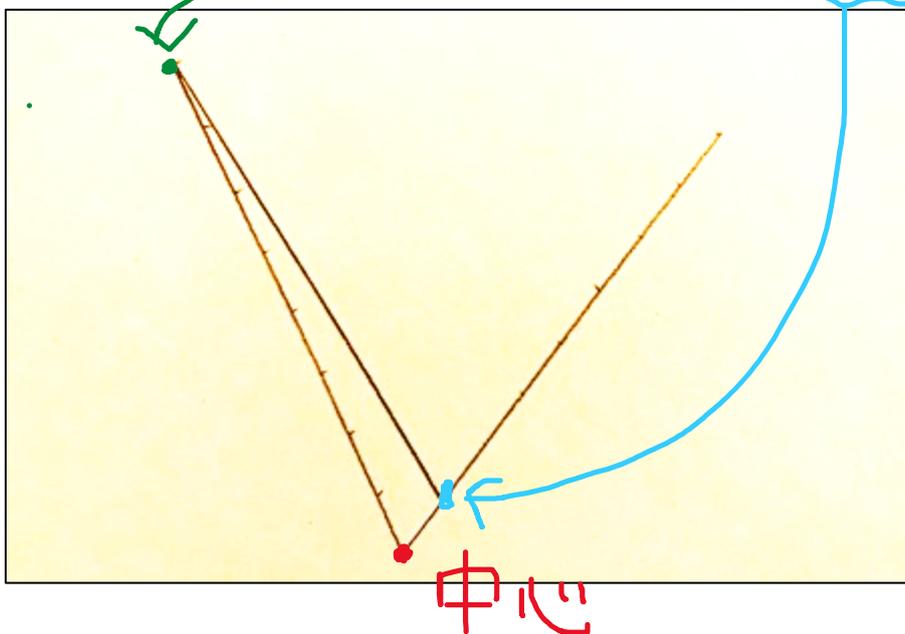
「図工ファイルの表紙4面のうち、必ず1面は線織面をかこう！」

次の出校日に、図工ファイルの表紙・裏表紙を持ってきてください。

- ① 2本の直線を、中心をくってけてかきます。見本は、8cmです。
さらに、あまり目立たないように、1cmごとにめもりをかきます。

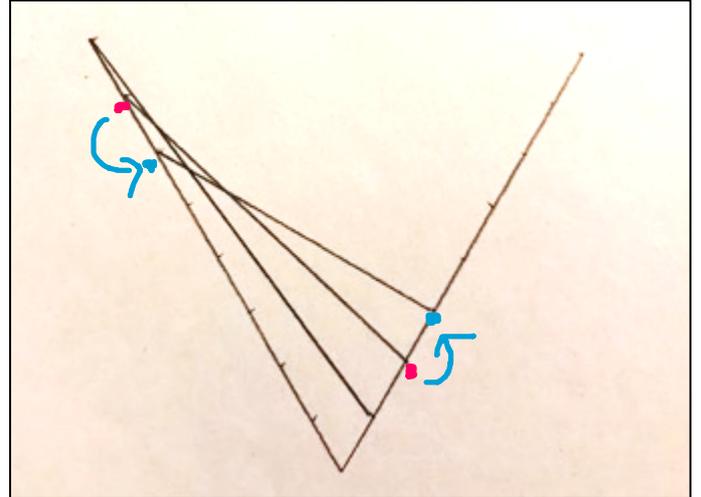
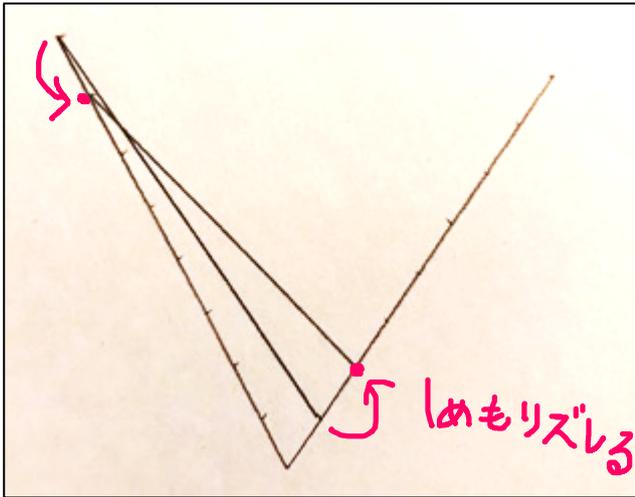


- ② 1本の直線は中心から遠い点を、もう1本は中心から近い点を、直線で結びます。



ちゃんとじょうぎを使ってくださいね。

③ 1つずつめもりをずらしながら、直線をどんどん引きます。

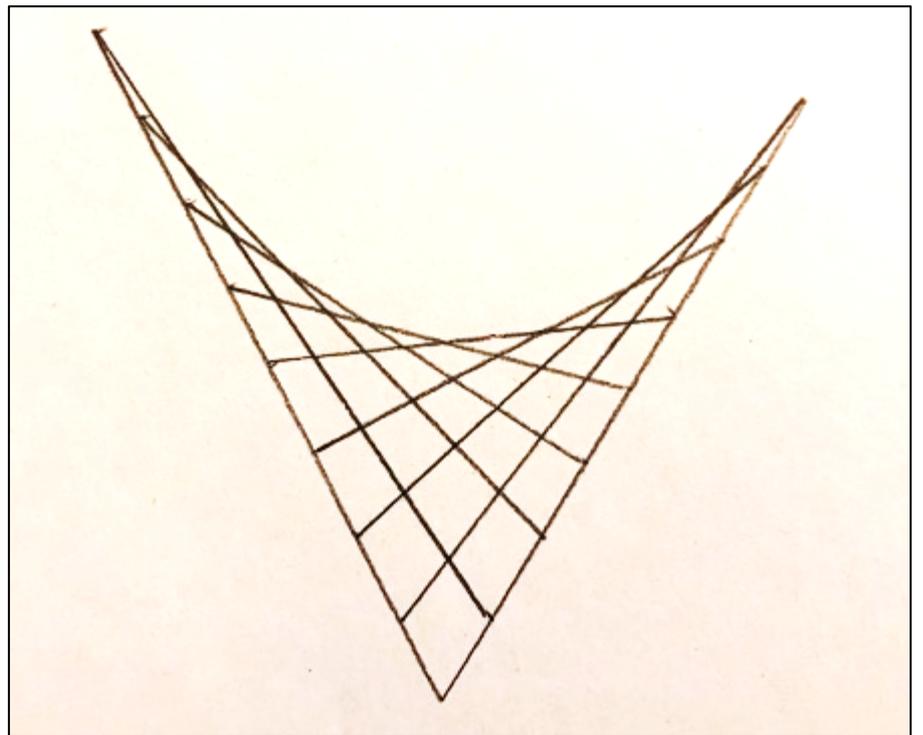


④ 最後まで直線を引くと、線織面のできあがり！

2本の直線がつくる角度を変えたり、1本の直線のめもりのはばを変えたりすることで、いろんな不思議もようができます。大事なことは、

めもりの数を

同じにすること！！



⑤ 4月の課題「えんぴつグラデーション」を思い出して、はみ出さないように色をつけましょう。曲がっているところはむずかしいけれど、1マスとばしてこうごにぬります。

